

第七十四回帝國議會  
衆議院

國際電氣通信株式會社法中改正法律案委員會會議錄(速記)第十一回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)  
大日本航空株式會社法案(政府提出)

會議

昭和十四年三月十七日(金曜日)午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 植原悦二郎君

理事小笠原三九郎君 理事川副 隆君

理事高橋圓三郎君

多田 滿長君 最上 政三君

小林房之助君 松尾 四郎君

永田 良吉君 安藤 孝三君

青木 精一君 富吉 榮二君

同月十六日委員南雲正朔君辭任ニ付其ノ補闕トシテ小林房之助君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣兼遞信大臣 鹽野 季彥君

出席政府委員左ノ如シ

陸軍少將 町尻 量基君

遞信政務次官 平川松太郎君

遞信參與官 上田 孝吉君

航空局長官 藤原 保明君

航空局部長 櫻井 忠武君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

大日本航空株式會社法案(政府提出)

○植原委員長 是ヨリ大日本航空株式會社法案ノ委員會ヲ開會致シマス、前會ニ引續キ質疑ヲ許シマス——富吉榮二君

○富吉委員 極メテ時日ガ切迫致シテ居リマスシ、又此ノ法案ガ成立スルト否トハ、我國民間航空ニ取ツテ非常ニ重大ナ結果ヲ齎シマスコトヲ痛感致シマスルガ故ニ、私ハ質問ヲ極メテ簡潔ニ致シタイト思ヒマス、數日來同僚諸君カラ熱心ナ質疑ガ繰返サレタノデアリマスルガ、何レモ民間航空ノ發展ヲ期スルコトガ、我國ノ發展ノ上ニ極メテ重大ナ要素デアアルコトヲ表示シタモノデアリマシテ、之ニ對シマスル政府當局ノ御答辯モ亦斯ル見地カラ立タレタモノナリト私ハ考ヘルノデアリマス、而モ今回政府ガ斯ノ如キ劃期的ナ法案ヲ提出サレマシテ、我國民間航空ヲ本當ニ發展セシメタイト云フ其ノ熱意ニ對シマシテ敬意ヲ表スル者デアリマス、然ルニ既ニ統計ヲ以テ説明スルマデモナク、我國ノ航空事業ハ諸外國ニ比シテ非常ナ劣勢ニアルコトモ事實デアリ

マス、此ノ立遲レタル民間航空ヲ世界的水準ニマデ高メ、産業文化ノ發展ハ固ヨリ、國防ノ安全觀ヲ得ル程度ニマデ引上ゲルト云フノニハ、餘程ノ努力ガ必要デアルト思フノデアリマス、之ニ要スル人的資源、機材或ハ又財政上ノ問題、種々ナル難關ガ横ハツテ居ルノデアリマスルガ、ソレ等ニ付テ簡單ニ御何致シタイト思ヒマス、ソレ等ノ要素ヲ引括メテ先ヅ第一ニ考ヘナケレバナラスコトハ、此ノ航空事業ヲ如何ニシテ發展セシムルカニ付テノ最モ根本的ナモノハ、何ヲ申シマシテモ其ノ任ニ當ラレル當局ノ熱意ト云フコトガ、一番重大デアルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ之ニ對シマシテハ永田君其ノ他ノ委員ヨリ色々御質疑モアリ、詰問的ナ御言葉モアツタヤウデアリシマテ、私ハ先日ノ永田君ノ質問ニ對スル遞信大臣ノ御答辯ヲ拜聽致シマシテ實ニ失望致シタノデアリマス、外ノ生産力擴充ナリ、或ハ統制ナリ、極メテ我國ト致シマシテハ、重大ナ問題デアリマスルガ、是等ニモ比シテ更ニ航空事業ハ全ク新シイ基礎ノ上ニ立タナケレバナラスノニ持ツテ來テ、

當局ノ熱意ニ、吾々ヲシテ疑ヲ懷カシメルガ如キ點ノアルコトハ、洵ニ遺憾ニ思フノデアリマス、先日ノ質問ニ對シマシテ、遞信大臣ハ餘リサウ長イ旅ヲシテ見マセヌノデ、飛行機ニ乗ル必要モナカッタト云フヤウナ御話デアリシ、又遊ビニ乗ルノハドウカト思ヒマシテト云フ御言葉モアツタ、斯ノ如キ認識ハ洵ニ悲シムベキモノナリト考ヘルノデアリマス、御承知ノヤウニ「ヒトラ」ニ致シマシテモ「ムッソリ」ニ致シマシテモ、殆ド飛行機デ飛廻ツテ居ル、今敗戰國ノ蔭介石ニ致シマシテモ、實ニ南北ニ飛行機デ飛廻ツテ居ル、所ガ我國ノ總理大臣初メ大臣方ハ「長イ旅行ヲ致シマセヌ」デ、マダ飛行機ニ乗ツテ見マセヌ、又遊ビニ乗ルノハドウカト思ヒマス」ナドト云フヤウナ狀態デゴザイマス、是デ民間航空ガ發達シ得ベキ筈ハナイ、私共ハ今日五十、六十、七十一云フヤウナオ年寄デアラレル閣僚各位ニ致シマシテ、何モ新シイ「フラン」ヤ或ハ技術ヲ要求スルノデハアリマセヌ、サウ云フヤウナ要求ハ無理デゴザイマスガ、少クトモ此ノ世界ノ大勢ニ處シ

テ行ク我國ノ立遲レタル航空ノ水準ヲ引上  
 ゲル爲ニ、一層ノ努力トシテハ、ドウシテ  
 モ首脳部ノ方々ノ熱意ガナケレバ、決シテ  
 此ノ問題ハ解決致サナイト確信スルノデア  
 リマス、勿論財政上ノ關係デ大藏當局ニ航  
 空局ノ意見ガ容レラレナイト云フコトモア  
 リマセウ、是ハ勿論アルト思ヒマスケレド  
 モ、ソレニ致シマシテモイツモ財政々々ト  
 申シテ居リマシタラ何モ出來ナイコトニナ  
 ツテシマフ、之ヲ押シテ行クニハ先ズ熱意  
 ガナケレバナラス、私ハ此ノ點ニ付テ今少  
 シク我國ニ於テモ民間航空ノ第一線ニ立ツ  
 航空局ガ種々ナル「テーマ」ヲ與ヘテ、認識不  
 足ナ上司ヲ引摺リ廻シテ持ツテ行カケレ  
 バナラス、是ハ實ニ藤原航空局長官ノ重大  
 ナ責任ナリ思フノデアリマス、國民精神  
 總動員「ダトカ、總親和ダトカ言ツテ、ユツ  
 クリシテ東京ニバカリ居ツテ色々ナコトヲ  
 言ツタリ、或ハ下條ヲ各地ニ廻シタリ、斯  
 ウ云フヤウナコトデハ國民精神ハ決シテ動  
 員サレナイ、力ガ入ラナイト思フノデアリ  
 マス、大藏大臣ガ地方ニ貯蓄ノ獎勵ヲ消費  
 ノ節約ト云フヤウナ國民精神ニ重大ナル關  
 係アル講演ニ出ラレル際、又内閣ガ成立致  
 シマシテ伊勢神宮ニ參拜ノ際、是等ノ如キ  
 モ宜シク飛行機ヲ以テ出掛ケ、又參拜ヲス

レバ宜イ、參拜ノ途中京都邊リニ行ツテ一  
 流ノ料理屋デ宴會ヲヤツテ、京都新聞ナド  
 ニ書カレテ、豫算委員會ノ問題ニナルガ如  
 キ態度ハ實ニザマハナイト思フ、飛行機ニ  
 乗ツテ其ノ日ニ飛ンデ歸ツテ來レバ宜イ、  
 斯ウ云フ風ナヤリ方ヲ今少シク手際良クヤ  
 ラナケレバナナイト思フデアリマス、ソ  
 コデ私ハ斯ウ云フコトヲ先ヅ當初ニ於テ當  
 局ノ反省ヲ促シ、其ノ努力ヲ希望致シテ質  
 問ニ入りマス、  
 御承知ノ通り此ノ民間航空ヲ發展セシメ  
 ルニハ種々ノ要素ガアリマスガ、此ノ前カ  
 ラ御話ノ通りニ全國民ノ大部分ハ飛行機ハ  
 墜チルモノダト云フヤウナ考ヘ方ヲ持ツテ  
 居ルヤウデアリマス、所ガ諸外國ニ於テハ  
 飛行機ハ事故ノ率ニ關シテモ自動車ヨリ安  
 全デアルト云フ風ニ認識サレテ居ルト伺ツ  
 テ居ルノデアリマス、是ハ色々ナコトモア  
 リマスガ、第一私共ノ承ツテ居ル所デハ、  
 日本ノ民間航空ノ設備ガ不十分デアアル、即  
 チ先日來御質問ニモアリマシタ如ク「ラヂ  
 オ・ビーコン」等ノ設備ガ殆ド見ルベキモノ  
 ガナイト承ツテ居ルノデアリマス、一體當  
 局ハ此ノ設備ヲオヤリニナル積リカ、オヤ  
 リニナラス積リカ、斯ウ云フコトハ先ヅ御  
 聽キシタイト思フノデアリマス、私ハ此ノ

問題ニ付テ或人カラ聞イタ所ニ依リマス、  
 餘リ設備ヲ良クスルト外國ノ飛行機ガ日本  
 ニヤツテ來テ色々ナコトヲ探知セラレル虞  
 ガアルノデ、防諜ノ關係カラワザトシナ  
 イノデアアル、外國ノ飛行機ナドガ飛ンデ來  
 テモ皆目氣象觀測所等デモ教ヘナイノダト  
 云フヤウナ——是ハ此處ダケノ話デアリマ  
 スガ、サウ云フコトマデ承ツテ居ルノデア  
 リマスガ、若シサウデアルトスレバ吾々ハ  
 又考ヘナケレバナラス、設備ヲオヤリニナ  
 ル方針デアルカ、オヤリニナラス方針デア  
 ルカト云フコトヲ先ヅ御伺致シマス  
 ○藤原政府委員 富吉サンカラ民間航空ニ  
 對シ、非常ナル御熱望ヲ以テ色々御督勵ヲ  
 戴キマシタコトニ對シテハ感謝致シマス、  
 政府トシテモ今マデ相當努力ヲシテ參ツタ  
 ノデアリマスガ、各種ノ情勢ノ爲ニ十分ナ  
 ル發達ヲ遂ゲルコトガ出來ナイト云フコト  
 ハ事實デアリマス、併シ最近ハ其ノ不振ヲ  
 回復スベク急速度ヲ以テ整備ニ努メルコト  
 ニナリ、又實際實現スル基礎ガ出來ツツア  
 リマスガラ、在來程ノ御心配ハナクテモ宜  
 シイノデハナカラウカト考ヘマス、併シ私  
 共ハ益、之ヲ振ヒ興サセル爲ニ努力ヲ惜マヌ  
 積リデアリ、又日夜努力シテ居リマス、大  
 臣ノ御不熱心ニ對シテ御不満ノ御言葉ガアリ

マシタケレドモ、現在ノ大臣ガマダ御乘リ  
 ニナラナイコトハ事實デアリマス、併シ最  
 近歷代大臣ハ現大臣ニ至ルマデ民間航空ニ  
 對シテハ非常ニ御熱心デアリマシテ、其ノ  
 結果國家ノ豫算トシテモ相當計上サレ、施  
 設モ出來ツツアルト私ハ確信シテ居リマス、  
 ソレカラ飛行機ノ安全ニ對スル施設ガ不十  
 分デアルコトモ事實デアリマス、併シ最近  
 飛行機ガ大型ニナリ、高速ニナルニ連レ  
 マシテ安全施設ノ必要ナルコトハ申スマデ  
 モナイコトデアリマスカラ、私共トシテハ  
 十分安全ニ努メル積リデアリマス「ラヂオ・  
 ビーコン」ヲ作ルカ作ラヌカト云フ御質問  
 デアリマスガ、是ハ無論作リマス、モウ既  
 ニ完成シテ居ルモノモ數箇所アリ、目下取  
 急ギ設備ヲ爲シツツアリマシテ「ラヂオ・ビ  
 ーコン」ト航空無線ト大體ハ一緒ニ作リツ  
 ツアリマス、サウシテ大體來年ノ末ニ至レ  
 バ、幹線航空路ハ全部「ビーコン」化スル計  
 畫ニナツテ居リマス、ソレカラ「ビーコン」  
 等ノ施設ヲシナイデ居ルコトハ、外國カラ  
 ノ飛行機ノ飛來ヲ恐レテ居ルカラダト云フ  
 ヤウナコトガ巷間ニ傳ツテ居ルヤウニ申サ  
 レマシタケレドモ、私共ハサウ云フコトハ  
 全然意ニ介シテ居リマセヌ  
 ○植原委員長 富吉サン大變御熱心ナ御質

問デスガ、餘リ多ク御説明ヲナサランデ質問ノ本旨ニ副フヤウニ單刀直入的ニナサツテ戴ケバ大變時間ノ節約ガ出來ルト思ヒマスシ、會期モ迫ツテ居リマスガ、斯様ナ重要ナ法案デアリ、殊ニ日本トシテハ初メテノ計畫デアリマスカラ、質問ノアル方ニハ成ベク全部ノ御質問ヲ御許シ致シタイト思ヒマシテ、質問ヲ打切ルコトハシナイヤウニ成ベク一ツ前置キヲ少クシテ單刀直入的ニ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス

○富吉委員 承知致シマシタ、只今航空局長官カラ私ノ質問ニ對シマスル設備ノ點ニ對シマシテ、明確ナ御答辯ガアリマシテ、ソレデ満足致シマシタ、ソコデモウ一點基本的ナコトヲ御尋致スノデアリマスルガ、私ハドウシテモ我國ノ民間航空ハ非常ニ遅レテ居リマシタ爲ニ、從來軍ノ指導後援ニ依ツテ育テラレテ來ト言ツテモ差支ナイト思フノデアリマス、是ハ洵ニ自然ナコトデアリマスルガ、私ハ民間航空ハ民間航空トシテノ獨自ノ立場ガアルノデアルト思フノデアリマス、是ガ偶、風雲急ヲ告ゲルトカ非常時ニ際シマシテ軍ニ徵用サレ、軍ニ協力申上ゲルト云フコトハ極メテ又當然デアリマスケレドモ、ソレ自體ト致シマシテハ、民間航空ハ民間航空獨自ノ使命ト、サウシテ指導方

針ガナケレバナラナイト思フノデアリマス、援助固ヨリ大イニ好ム所デアアルガ、其ノ指導方針ナルモノハ民間航空ニハ獨自ノモノガナケレバナラヌト思フノデアリマスルガ、此ノ點ニ對スル當局ノ御意見ヲ承リタイ

○藤原政府委員 御説ノ通りデアリマシテ、民間航空ガ一旦緩急アル場合ハ、軍ノ御手助けヲ致シマスルガ、平時ニ於キマシテハ獨自ノ境地ヲ持ツテ居リ、必要性ヲ持ツテ居ルノデ、民間航空獨自ノ立場カラ發展サセルト云フ考デアリマス

○富吉委員 更ニ私ハ政府ノ豫算ニ於テ御計上ニナツテ居リマスル中央航空研究所ト云フモノハ、一體ドウ云フ仕事ヲセラルル計畫デアリマスルカ、其ノ計畫ヲ極メテ具體的ニ詳細ニ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

軍ニ於キマシテ、ソレト航空研究所ガアルノデアリマス、又航空ノ技術ト云ヒマスルモノハ綜合的ノモノデアリマシテ、其ノ爲ニ他ノ色々ノ研究機關ガ之ニヤハリ培養的ニ加ハツテ居ルノデアリマス、併シナガラ我國ノ此ノ航空ノ技術ニ依ツテ生レマス航空其ノモノモ、未ダ世界ノ水準マデ達シテ居ナイト云フコトハ先程申上ゲタ通りデアリマスガ、此ノ爲ニ必要ナル研究機關ト致シマシテハ我國ニ一ツ缺ケテ居ルモノガアル、ソレハ綜合的ノ研究機關デアリマス、而モ綜合的ノ研究機關ニ加ヘテ高度ノ高級的ナル研究機關ガ缺ケテ居ルノデアリマス、今日飛行機ノ速力ガ既ニ實用ノ戰闘機ニ於キマシテモ六百「キロ」以上ノモノガ出テ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ飛行機ガ如何ニシテ生レルカト言ヒマス、是ハ高度ノ研究ニ依ツテノミ得ラレタ產物デアリマス、今日我國ニ於キマシテ既ニ六百「キロ」位ナ速力ノアリマス其ノモノニ對シテ、之ヲ航空力學的ニ證明シ得ル資料ト云フモノ、又實績ト云フモノハ一ツモアリマセス、世界ノ飛行機ガドン／＼斯ク進歩シテ居ル間ニ日本モ亦進歩シナケレバナラス時ニ、如何ニシテ此ノ航空ノ技術、學理ヲモツト推進メテ究メルコトガ出來ルカ、之ヲ基トシテ將

來マダ／＼世界ノ水準、否世界ノ水準ヲ越エテ、他國ノ技術ヲ越エテ行カナケレバナラス、ソレニハ如何ニシテヤツテ行カナケレバナラスカト云フコトヲ考ヘマス時ニハ、ドウシテモ綜合的デアリ高度ノ研究機關ト云フモノガ必要デアアル、此處デ吾々ガ研究ヲ致シマシタモノガ直接現ハレマスノハ航空工業デアリマス、サウシテ優秀ナル飛行機ヲ造リ我國ノ航空工業ヲ最モ盛ニスル、吾々ハ將來ハ我國ガ外國ニ向ツテ飛行機ヲ輸出マデショウ、安價ニ多量生産ヲシテ外國ニマデ出サウ、近クハ支那並ニ東洋アタリノ「マーケット」ヲ吾々ガ握ラウト云フヤウナ考ヲ以テヤツテ居ルノデアリマス、之ニ向ツテハ製造工業ヲ振興スルト同時ニ、此ノ製造工業ヲ振興サス源泉ニナリマスル研究機關ト云フモノヲ一時モ早く完成セシメナケレバナラス、而モソレガ今日アリマスル研究機關ハ、帝大ニアリマス研究機關、是ハ基礎的ノ研究機關デアリマス、陸軍ニアリマス研究機關、海軍ニアリマス研究機關、是ハ各基礎研究ヲ基トシテ軍ノ必要目的ニ向ツテ進ンデ居ラレルノデアリマスガ、併シナガラ民間ニ對シ、先程申上ゲマシタ一般高級的ノ研究ニ對シテハ日本ニ何處ニモナイノデアリマスカラ、中央研究機

關之ヲヤラウト云フ譯デアリマス、大體昨年設立委員會ガ設ケラレマシテ數度ノ委員會竝ニ小委員會ガ開催サレテ討議ヲシマシタ結果、第一次計畫ト致シマシテ答申セラレマシタモノハ、約九千八百萬圓、其ノ中ニアリマスル大キナ施設ト致シマシテハ、世界的ノモノトシテ高速高壓ノ風洞、又高速ノ水槽、或ハ高温高壓、低温低壓、色々ナ狀況ノ下ニ發動機ヲ運轉スル、斯ウ云フ色々ナ設備ヲ見マシテ九千八百萬圓ヲ第一次計畫トシテ出シタノデアリマス、併シナガラ財務當局ト折衝ノ結果五千萬圓五年間計畫ト云フコトニナリマシテ、今年ハ經常費ヲ合セマシテ約三百二十五萬圓、ソレデ敷地ノ買収其ノ他ニ掛リマシテ工事ヲ進メタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○富吉委員 綜合的研究機關ノ必要ナコトハ全く同感デアリマシテ、此ノ計畫ヲセラレタコトハ結構デアリマス、從來ノ研究機關ハ御話ノ中ニモアリマシタ如ク、ドウモ専門ニ流レ若クハ大シタ役ニ立タナイ特殊ノ人々ノ遊び場所ニナツテシマツタコトガ屢々實例ニアルノデゴザイマス、ソコデ此ノ中央研究所ナルモノハ、私共ノ理解致シマスル所デハ、ドウシテモ先ヅ民間ノ製造會社ト密接ナ連繫ヲ執ルト云フコトガ非常

ニ重大デアルト考ヘルノデアリマス、更ニ民間製造會社ニ、一ツノ研究サレタ製造ノ「テーマ」ヲ與ヘルコトガ、此ノ研究所トシテ重大デアルデハナイカト思フノデアリマス、出來上ツタ仕事ニ對シテ完全ニ批判致シマシテ、サウシテ中島ナラ中島、或ハ三菱ナラ三菱デ出來マシタ所ノ立派ナ機械ヲ、他ノ會社ニ強制スルダケノ力ガナケレバナラナイノダト考ヘテ居ル、又其ノ製作ヲ行ヒマスル爲メ所謂製作機械ノ据付等モ、強制的ニ申付ケルト云フコトガ必要デアリマス、是ハ勿論單ニ此ノ研究所其ノモノガヤル仕事デアリマセスケレドモ、研究所ニ於テ作ラレタ所ノ意見ヲ以テ政府ハソレダケヤラナケレバ嘘デアル、會社ノ配當ニモ或ル程度ノ制限ヲヤラシメル、サウシテ其ノ研究費ヲ蓄積セシメテ、民間ノ製造會社ニモ之ニ相應ジタ一ツノ研究機關ヲ作ル、斯ウ云フ風ニナツテ兩々相俟タナケレバ、單ニ研究所ヲ作ツテ、ソコデ立派ナモノヲ研究シタダケデハナク、ソレト併行シタ強制力、或ハ又ソレト併行シタ從屬的ナ民間會社ニモ研究機關ガナケレバ嘘デアルト考ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○櫻井政府委員 只今中央航空研究所ノ民間

間トノ密接ナル連繫ノコトニ付テ御親切ナル御注意デアリマスガ、此ノ中央航空研究所ハ色々ナ機關ヲ設ケルコトニシテ居リマス、最高技術委員會ノヤウナモノヲ作り、或ハ實行委員會ノヤウナモノニ依リマシテ、是ガ建設ニ當リマシテモ、亦是ガ運用ニ當リマシテモ、軍部ハ勿論又商工省或ハ民間トモ十分ナル連繫ヲシテヤツテ行ク積リデゴザイマス、現ニ此ノ設立委員會ニ於キマシテハ各方面ト言ヒマスモノノ中ニ、民間ノ方モ可ナリ集マツテ貫ヒマシテ研究ヲ致シタ次第デアリマス、ソレデ吾々ガ將來ハ、御説ノ如ク中央研究機關デ出來マシタモノフ、或ハ考ヘタモノヲ一ツノ「テーマ」トシテ民間ニモヤル積リデゴザイマス、又ヤラナケレバナラヌ仕事デアルト思ヒマス、又一ツノ會社ノヤツタ事柄ヲ他ノモノニ協力セシメルト云フコトモ勿論必要ナ事柄ト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、又只今御話ノ設備ヲ命令スルト云フヤウナ事柄モ、是ハヤラナケレバナラヌ仕事デアリマス、此ノ他ノ會社ニ協力セシメルコトカ、或ハ設備ヲセシメルト云フヤウナ事柄ハ、航空機製造事業法ノ中ニ補償ヲ伴ツテ明記シテアリマス、ソレカラ民間ノ研究機關ヲ振興セシメナケレバナラスト云フ御話デアリ

マスガ、實ヲ申シマスルト、私ハ我國ノ民間ノ研究機關ハ世界ノソレニ比シテ決シテ劣ツテ居ナイト思ツテ居リマス、但シソレハ世界ノ他ノ國ノ研究機關ガ非常ニ進歩シテ居ルト云フ意味デハアリマセヌガ、兎ニ角今日外國ノ民間ノ研究機關ニ比マシテハ日本ノ民間會社ノ持ツテ居リマスル研究機關ハ敢テ劣ツテ居ルトハ申シマセヌ、卑近ナ例デアリマスガ、米國ノ民間會社ノ持ツテ居リマス風洞ノ數ハ僅ニ三ツデアリマス、併シナガラ我が日本ノ民間會社ハ風洞ヲ十五モ持ツテ居リマス、是ハ我國民間會社ガ實ハ我國ニ研究機關ガ缺ケテ居ツタ爲ニ、自ラ研究ヲ餘儀ナクセラレタト云フ結果ニ外ナラヌノデアリマス、私ハ色々ナ民間會社ガ殊ニ熱心ニ自ラ研究ニ進ンデ居ルト云フコトニ向ツテハ、非常ナル敬意ヲ表シテ居ルノデアリマスガ、ソレハ將來中央研究機關ガヤリマス上ニ於テ、密接ナル連繫ヲシテ行カナケレバナラストコトニ付キマシテハ、只今御尋ノ通り全く御同感デ、之ニ向ツテ進ンデ行カナケレバナラスト考ヘテ居ル次第デアリマス

○富吉委員 次ニ私ハ技術員ノ養成ニ付テ御同致シタイノデアリマス、モウ委員長カラモ注意ガアリ、又私モ自覺致シテ居リマ

スカラ難カシイコトハ申上ゲマセヌガ、兎ニ角日本ニ於テハ非常ニ航空製造技術ナリ、或ハ又航空ソレ自體ニ關スル技術ト云フモノガ劣ツテ居ルト云フコトハ、是ハドンナニ最負目ニ見テモ事實ト思フノデアリマス、ソコデ此ノ點ニ付テモ餘程ノ注意ヲ致サナケレバナライノデアリマス、一般的ニ申シマシテ我國ニ於ケル教育ナドニ致シマシテモ、技術ノ中デモ高級ナ理論ヲ作ルト云フコトハ、非常ニ或ル程度マデ相當ナモノガアツタカノ如ク考ヘルノデアリマスガ、實驗ヲ基礎ニシタ所謂優秀ナ「プラン」ヲ立テ得ル——決シテ机ノ上ノ「プラン」デナシニ實驗ヲ基礎トシタ正シイ計畫ヲ立テル、企畫ヲスル所ノ能力ノアル人間ヲ作ル爲ノ教育ハ、非常ニ缺ケテ居ツタ思フノデアリマス、ソレト同時ニ又單ニ技師デアルト云フ者、或ハ又熟練工ト云フヤウナモノガ缺乏致シテ居ルト云フコトハ、政府自ラ今度ノ生産力擴充ニ於テ、身ヲ以テ體驗セラレタ所デアリマスガ、此ノ航空技術及航空工業技術ト云フ方面ニ互ツテ、特ニ此ノ技術ヲ培養スルト云フコトガ私必要デアルト思フノデアリマス、先日モ本會議ニ於テ文部當局ニ御尋シタ時ノ御答辯ノ中ニ、技術教育ニ關スル當局ノ御認識ヲ承ツタノデアリマス、

ソコデ此ノ技術ノ中ニ於キマシテモ最モ私共ガ日本ノ現在ノ航空事業ニ於テ缺乏致シテ居ルト思ヒマスコトハ、ソレハ設備ノ關係等モアリマスルガ、所謂「ラヂオ・ビーコン」ト云フヤウナモノ、航空ノ安全性ヲ保ツ方面ノ氣象、機上ノ操作、地上設備、サウシタ機關ニ對スル機械ヲ取扱フ、本當ノ頭ダケデナク、實際ノ腕ヲ具ヘタ技術員ガ足ラナイト云フコトヲ、常ニ聞カサレテ居ルノデアリマス、ソレニ對スル「パイロット」ノ養成及ビ航空工業ノ部面ニ於ケル所ノ種々ナル技術教育ニ付テハ承リマシタケレドモ、氣象及ビ其ノ他ノ點ニ對スル御計畫ハ未ダ承ラナイノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ何カ御計畫ガアリマシタラ承リタイと思ヒマス

○櫻井政府委員 只今技術者ノ不足、隨テ是ガ補充、養成ノコトニ付テ御尋ガアリマシタガ、技術者ガ今日不足シテ居リマスコトハ申上ゲルマデモナイコトデアリマスガ、十四年度ニ於キマシテモ亦非常ナ熟練工並ニ普通ノ職工ノ不足ヲ來シテ居ル次第デアリマシテ、是等ノ補充ニ付キマシテハ文部當局アタリト十分ナ連絡ヲ執リ、出來ルダケ早く充實スルヤウ希望シテ居ル次第デアリマス、近ク相當ノ結果ヲ得ラレモノト

信ジテ居リマス、又國ト致シマシテハ會社ニ對シマシテ技術員養成ヲ命令スルコトモ航空事業法ニ依リマシテ出來ルコトニナツテ居リマスガ、現在會社ハ自ラ青年學校ニ於テ或ハ其ノ他ニ於テ非常ニ熱心ナ態度ヲ以テ技術者ノ養成ヲシテ居ルコトヲ茲ニ附加ヘテ置キマス、「ラヂオ」其ノ他ノ通信ニ於テ地上關係ノ技術者ノ養成ヲ如何シテ居ルカト云フ御話デアリマスガ、遞信省內ニ於キマシテモ他ノ局トソレト「連絡ヲ執リマシテ是ガ養成ニ付テ考慮ヲ拂ヒ、將來是ノ十分ナル供給ノ出來ルヤウニ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○富吉委員 私ハ先日所澤ノ整備學校ヲ視察致シマシタガ、此處ニ於テモ「ラヂオ・ビーコン」ヲ完全ニ使ヒコナシ得ル人ガ中々少イノデ、東北帝大ノ助教授ヲ無理矢理ニ貰ツテ來テ此處デ仕事ヲシテ貰ツテ居ルノデアルト云フコトヲ承ツタノデアリマスガ、軍部ニ於キマシテモ、サウ云フ風ニ人ヲ得ルノニ非常ナ困難ヲ感ジテ居ルノデアリマスガ、今後民間航空ガ急速ニ發達シ、一大飛躍ヲ爲シテ七万軒ニ近イ航空路ヲ開設致サレルニ付キマシテハ、サウ云フ方面ノ技術員ハ相當不足ヲ來シテ來ルノデハナカラウカト心配致シテ居ルノデアリマス、ソコ

デ先刻御抱負ヲ御示ニナリマシタガ、單ナル「バー・プラン」ニ終ラナイヤウニ願ヒタイ、本當ノ技術者、人間ト云フモノハサウ容易ニ出テ來ルモノデハナイト思ヒマス、サウシテ「パイロット」ノ養成ハ八箇月ニシテ百時間飛ベバ二等操縦士ノ資格ガ與ヘラレ、百四五十時間モ飛ベバ一等操縦士ノ力ガ與ヘラレルノデアリマスガ、此ノ氣象及ビ機關ノ方ノ技術員ト云フモノハサウ簡單ニ出來ルモノデハナイ、而モ常ニ私ガ申シテ居ルノデアリマスガ、今度戰功ヲ樹テマシタ所謂海ノ荒鷲、陸ノ荒鷲ノ勇士ノコトハ能ク傳ヘラレ居リマスルケレドモ、其ノ飛行機ヲシテ完全ニ目的ヲ遂行セシメル所ノ整備員ノ努力、或ハ其ノ地上設備ヲ十分ニシテ後顧ノ憂ナカシメルト云フ努力ニ對シテハ世間ハ割合ニ忘レ勝チデアルト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、ソレ程派手デナイ仕事デアリマスカラ、若キ青年學徒等ヲ此ノ方面ニ向ケルコトニ付テハ並々ナラス苦勞ガアルカト思ヒマスカラ、十分ニ御留意ヲナサイマシテ萬遺憾ナキヲ期セラレタイト思フノデアリマス

此ノ問題ハソレ位ニ致シテ置キマシテ、次ニ此ノ前ノ本會議ニ於テ私ハ海洋航空政策ニ付テ論ジマシテ、商船學校ニ航空科並

ニ航空機關科ヲ設置シタラドアルカト云フ質問ヲ致シマシタガ、不幸ニシテ逕信大臣ノ御答辯ヲ得ルコトガ出來ナカツタノデ、此ノ際御聽スルノデアリマスガ、詳シイコトハ申シマセヌ、要スルニ日本ハ海洋航空ニハ適シテ居ルト思ヒマスガ、多年習熟シタ氣象或ハ海洋ニ對スル認識ヲ持チ、而モソレヲ更ニ飛躍セシムベキ重大ナ使命ヲ持ツテ居リマス商船學校ノ中ニ、航空科及ビ航空機關科ヲ設置スルコトハ極メテ適切デアルト思ツテ提唱致シタノデアリマ

スガ、當局ハソレニ對シテ如何ナル御見解ヲ持ツテ居ラレマスカ、此ノ際承ツテ置キタイト思ヒマス

○櫻井政府委員

商船學校ノ學科ノ中ニ於テ航空ノコトヲ教ヘテ居リマス、御承知ノ如ク商船學校ヲ出マシタ者ハ海軍ノ豫備士官トナリ得ル資格ガアリマスノデ、卒業致シマス、航空隊ノ方ニ入リマシテ教育ヲ受ケテ、希望スル者ハ航空ノ豫備士官トナル者モアリマス、昨年デアリマシタカ、是等ノ商船學校ヲ卒業シタ豫備ノ士官ガ中支那ノ戰線ニ於テ壯烈ナ最期ヲ遂ゲテ居ラレ

ルコトモ御承知ノコトト存ジマス、併シナガラ前ニハ商船學校ヲ出タ人が就職ノ關係デ海軍ノ航空ノ方ニ割合ニ入ツテ居リマシタガ、今日デハ手一パイナノデ、サウ云フ餘裕ガナイ、ヤハリ商船學校ハ商船ニ乗ル人ヲ教育スルコト云フコトニナツテ居リマス、ソレハ高等商船學校ノ方デアリマスガ、地方ノ商船學校ニ於キマシテモヤハリ航空ノ學科ヲ入レテ之ヲ主トシテ工業ノ方面ノ教育ヲシテ居ル所モアリマス

○富吉委員

私ノ申上ゲテ居リマスノハ、商船學校ノ中ニ學課トシテ航空學ヲ教ヘルト云フノデナシニ、商船學校ニ航空科竝ニ航空機關科ヲ設置シテ、航空工業ナリ、航空輸送事業ナリニ直接任務ニ就キ得ル民間航空——勿論軍事航空ニモ必要デアリマスガ、民間航空ニ直接就キ得ル、例ヘバ水上機等デスガ、サウシタ人ヲ主トシテ教育スル所ノ一ツノ科ヲ御設ケニナル御意思ハナ

イカ、是ガ私ノ質問デアリマス、或ハ私ノ聽達ヒカモ知レマセヌガ、既ニモウ一パイデアツテ、別段サウ云フ方面ヲ希望スル者モナイト云フヤウニ承ツタノデアリマスガ、若シ私ノ聽達ヒデナイトスレバ、私ハ不思議ニ考ヘルデアリマス、「パイロット」ノ養成ヤ機關士ノ養成ト云フコトハ多ク益辨ズル今日ニ於キマシテ、手一杯ダツ云フヤウナ理窟ハ出テ來ナイデアラウト思フノデアリマスガ、其ノ點聞達ツテ居リマ

シタラ御訂正ヲ願ヒタイ思ヒマス

○櫻井政府委員

只今私ガ聞達ヘテ申シマシタカモ知レマセヌカラ訂正致シマスガ、手一杯ト申シマシタノハ、今日商船學校デ航空ニ向ケル餘裕ガナクナツテ手一杯ダツ云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマス、ソレカラ海洋方面ニ對スル教育ト言ヒマスルカ、水上機ノ教育ト致シマシテハ、將來富吉サンノ御説ノヤウナモノハヤハリ中央飛行學校ニ於テ教育ヲスルコトニナツテ居リマス、此處デ機關ノ者、又操縦ノ者ヲ教育スルノデアリマスガ、將來ハ水上飛行ノ教育ヲモヤル計畫デ進シテ居リマス、是デ相當ノ人數ヲ養成シ得ルモノト考ヘテ居リマ

○富吉委員

其ノ點ハソレデ宜シウゴザイマスガ、私ヘ考マスルノニ此ノ航空輸送事業ト云フモノハ、世界各國ノ狀態ヲ見マシテモ、殆ド政府ノ保護助成ナシニハ商業的ニ經濟的ニ獨立シテ居ル民間航空ハ、一二ノ例ヲ除ク外ハ少イヤウニ思フノデアリマスガ、是ハ事業其ノモノノ性質デアリマシテ、決シテ經營ガ惡イトカ云フヤウナ單ナル問題デハナイト思フノデアリマス、ソコデ例ヘバ料金ヲヒドク引合フヤウニ高ク致シマスルト一般ノ利用價值ガナイト云フノ

デ、御承知ノ通り亞米利加等ニ於キマシテハ、既ニ汽車ノ二等ニ類スル程度ニマデ引下ゲラレテゴザイマスルガ、其ノ爲ニ政府ハ相當ノ補助ヲ致シテ居ルヤウニ思ヒマスル、茲ニ色々表モアリマスルケレドモ申上ゲマセヌガ、殊ニ英國、佛蘭西等ニ於キマシテハ多額ノ費用ヲ補助致シテ居ルヤウデアリマス、ソレデ私ハ斯ウ云フコトヲ考ヘテ見ルノデアリマスルガ、此ノ航空工業ヲ併セテ同ジ輸送會社デヤラセタラドウカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、先日本會議ニ於ケル遞相ノ御答辯ニ依リマスルト、ドウモ自分デ使フ飛行機ヲ自分デ作ツタノデハ、刺戟ガナクテソレニ膠着スルカライケナイ、此ノ言葉ハ他ノ言葉デ言ヒ現ハスナラバ器材ノ進歩發展ト云フモノハ要スルニ幾ツモノ事業會社ガアツテ、ソレガ競走スルコトニ依ツテ刺戟ヲ得テ立派ナ機械ヲ作り出スノデアル、斯ウ云フコトニナルト思フノデアリマス、私ハ遺憾ナガラ此ノ御意見ニハ贊成致シ兼ネルノデアリマス、最早今日我國ニ於キマスル一切ノ生産力擴充ト云フヤウナ問題ヲ繞ツテ考ヘラレマスルコトハ、從來ノ自由主義經濟ノ下ニ於ケルガ如ク、幾ツモ

ノ會社ガ競走スルコトニ依ツテ決シテ生

産力が高マリ、優秀ナル品物が出来ルト云フコトハアリ得ナイト思フ、殊ニ此ノ航空會社ノ如ク或ハ租税ヲ免除シテヤラナケレバナラストカ、或ハ補助金ヲ出シテヤラナケレバナラストカ、即チ殆ド準國策會社のニナツテ來テ居リマスル今日ノ製作工業ニ於キマシテ、ソレヲ競争サセルコトニ依ツテ立派ナ品物が出来ルノデナクシテ、所謂中央研究所ノ如キ綜合的ナ研究機關ガ一ツノ「テーマ」ヲ與ヘルコト、即チ實驗ニ依ツテ與ヘタ「テーマ」ニ依ツテ出来テ行クノデアリマシテ、私ハ輸送事業ノ會社ニ製作工業マデ併セ兼セタ所デ、決シテ逓信省ノ御心配ニナルヤウナコトハナイノミナラズ、寧ロ此ノ航空工業ナルモノガ本當ニ發展シテ行クト逆ノ方ニ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテソレガ此ノ會社ヲシテ所謂經濟的ナ基礎ヲ持チ得テ、更ニ此ノ航空輸送事業方面ノ發展ヲ期シ得ルト、斯ク確ク信ジテ居ルノデアリマスルガ、當局ノ御考竝ニ將來ニ對スル研究ノ對象トナルノカドウカ、其ノ點御伺ヲ致シマス

○櫻井政府委員 只今ノ富吉サンノ御質問竝ニ御意見ハ、良イ飛行機ヲ我國デ今日作ル爲ニハ自由競争ニ依ラズシテ、一ツノモノヲ指導シテ行ツタナラバ宜イデハナイカ

ト云フヤウナ御話ニ承リマシタガ、私ハ私自ラノ永年ノ航空工業ニ關スル經驗カラ申シマシテ、良イ飛行機ヲ作ル爲ニハ指導モシテ良イモノヲ作ツテ行ク、モウ一ツハ競争セシメテ良イモノヲ作ツテ行ク、勿論此ノ競争ノ中ニハ指導モ含ムノデアリマスガ、卑近ニ言ヒマスルト、一ツノ會社ヲ指定シテ、其ノ會社ニ指導ニ依ツテ良イモノヲ作ラセル、或ハ二ツカ三ツノ會社ニ試作ヲ命ジテ競争セシメテヤル方法デアリマス、是ハ何レモ理窟ガアリ、又實績ヲ擧ゲテ居リマスルガ、併シナガラ私タチハ今日競争セシメタ方ガ良イ結果ヲ得テ居ルト存ジマスルシ、又競争セシムル必要ガアルト信ジテ居リマス、飛行機ガ今日ノ如ク非常ニ急激ナ發達進歩ヲナシテ居リマス間ハ、此ノ事柄ハ已ムヲ得ナイト思ツテ居リマス、先日本會議デ逓信大臣カラ輸送會社ガ製造會社ヲ兼ネルト云フ事柄ハ宜クナイ、ソレハ自分ノ作ツタ器材ノミヲ使用スルコトトナリマスルノデ、結局迷惑ヲ受ケマスルノハオ客サンデアリマス、又輸送事業ハ線路ノ種類デアルトカ、長短各、機種ヲ異ニスルコトガ必要デアル、サウ云フ澤山ノモノヲ輸送會社自ラ作ルト云フコトハ、是ハ中々出來ナイ相談デアリマス、結局輸送會社ハ製

造會社カラ優秀機ヲ買ツテ、之ヲ以テお客サンニ「サービス」スルト云フコトガ本當ノ親切デアリ、又是デナケレバナラスト私ハ考ヘテ居リマス、尤モ富吉サンノ御話ニ全面的ニ反對シテ居ルノデアリマセヌ、今日飛行機ガ非常ニ急激ナ進歩發達ノ途上ニ尙ホアルノダト云フコトガ、其ノ前提ニナツテ居リマスコトヲ御諒解願ヒマス

○富吉委員 ソレ以上ハ議論ニナリマスカラ申上ゲマセヌガ、先刻ドナタカノ質問ノ中ニ於キマシテ、今日航空事業ノ製作能率ガ上ライノハ、要スルニ極ク分リ易ク言ヘバ、陸軍ヤ海軍ガ何時マデ飛行機ヲ買ツテ呉レルカ分ラヌ、ソコデ設備或ハ生産能力ヲ十分ニ培養スルコトガ出来ナイデ、常ニソレヲ心配シテ居ルガ故ニ、十分ニ現在モ軍ノ用ニモ、或ハ民間航空ノ用モ達シ得ルヤウナ製造能力ガ出ナイノダ、斯ウ云フコトヲ質問サレマシタ、ソレニ對シテ逓信大臣ハ、現在ノ國際諸情勢及ビ我國ノ國策ノ將來ヲ考ヘル時ニ、決シテ其ノ心配ハナイノデ、會社ニ安心ヲ與ヘルヤウニスル、斯ウ云フコトヲ仰シヤツタ、今戦争ガアツテ私モサウ云フ考ヲ持ツノデアアル、戦争ガ起ツテ、サウシテ頻リニ作レノト云フコトヲ云ヒマスガ、是ハ將來必ズ或ル一定ノ

時ガ來マス、相當製造會社ノ方ガ行詰ツテ來ルト考ヘルノデアリマス、先日陸軍ノ政府委員ノ方カラモ御答辯ガアリマシタガ、軍ハ軍ニ要ルト豫想スベキ總テノ航空機ヲ普段カラ軍デ保有スルコトハ困難デアルト云フ意味ノ御答辯ガアリマシタ、サウシマス、今後ノ航空事業ト云フモノハ、相當此ノ經營形體ニ於テモ考ヘナケレバナラスト、現ニ歐洲大戰ノ時ノ如キモ、頻リニ必要デアルト云フノデ色々ナ會社ガ出来テ、非常ニ高イ製造能率ヲ擧ゲマシタガ、一タビ戦争ガ終ルト大混亂ノ中ニ陷ツテシマウト云フヤウナコトガアツタノデアリマス、是非非常ナ經濟ノ不健全性ニ基クモノデアルト思フノデアリマスガ、今後ノ航空工業指導ニ當ツテモ、亦昨午政府ガ航空事業法ヲ御出シニナツタ精神モ私ハソコニアルノデハナイカと思フ、詰リ餘リ多クノ會社デ、小サイモノニハ出來ルダケ作ラセナイト云フコトヲサセタノハ、此ノ競争ヲ激成スルコトニ依ツテ、却テ航空工業ノ發展ヲ妨ゲ、經濟ノ動亂ヲ招ク虞ガアルト云フ意味カラ、私ハアノ法案ガ出タモノナリト確信スル、此ノ趨勢ノ下ニ於テ、決シテ支那ト戦争スルコトモサウ長イコトデハアリマスマイ、必ズ近イ將來ニ於テ平和克復ノ日アリト私共ハ考ヘマ

ス、軍用航空ト云フモノハ一定ノ限度ノ來ル日ガアルト私ハ思フ、サウスルト製作會社ト云フモノハ相當私ハ困難ナ所ニマデ至ルノデハナイカ、其ノ時ニ大キナモノハ殆ド大日本航空會社ト云フヤウナモノシカナイ、ソコデ飛行機ヲ買フト云フ場合ニ於テ、サウ餘計要ラナイ、サウスルト何處ニ持つテ行ツテ賣ルカ、外國ヘ持つテ行ツテ賣ルノハ別デアリマス、サウ致シマス私ハ相當困難ナ問題ニナルノデハナイカト思フカラ、斯ク申上ゲルノデアリマス、併シナガラハハ御參考ニ申上ゲタノデアルカラ敢テ御答辯ハ必要トシマセヌ、ソコデ私ハ大日本航空會社ノ監督指導ニ付テ少シク承ツテ置キタイト思ヒマス、是ハ委員長カラ御注意モアリマシタガ、少シク私ノ意見ヲ申上ゲタイト思ヒマスカラ暫ク御許シテ願ヒタイト思ヒマス、會社ノ所期ノ目的ヲ達成セシムベク、有效適切ナル方法ハ色々御計畫ニナツテ居ルト思ヒマスガ、私ハ一番大事ナコトハ、此ノ會社ヲ指導スルコトニハ、先ヅ人ノ和ヲ得ナケレバナラスコトダト考ヘテ居リマス、現在ノ大日本航空會社ハ——會社ノコトヲ色々申上ゲマスコトハドウカト思ヒマスシ、隨テ其ノ内容ニ付テ私詳シク申シマセヌガ、私一部始終ヲ調査致シテ見マシ

タ所ガ、甚ダ寒心ニ堪ヘザルモノガアルノデアリマス、色々ナ系統ガ錯雜致シマシテ、サウシテ此ノ航空事業ノ發展ヲ阻碍シテ居ルガ如ク思ハレル點ガ多イノデアリマス、ソコデドウシテモ人ノ和ヲ得ルト云フコトガ重大ナ問題デアリマスルガ、御承知ノ如ク、天ノ時ハ地ノ利ニ如カズ、地ノ利ハ人ノ和ニ如カズ、是ハ言ヒ馴ラサレタコトデアリマスガ、大ニ玩味スル必要ガアルト思フノデアリマス、現ニ大日本航空ニ於キマシテハ、合併サレテ大日本航空ニナツタノデアリマスガ、此ノ日本航空ト國際航空トノ間ニ、私ハ相當軋轢ガアルコトヲ承ツテ居ルノデアリマス、ソレハ待遇ニ於キマシテ或ハ其ノ他ノ「ポスト」ニ於キマシテ、相當ナ軋轢ヲ演ジテ、面白カラザル風評ヲ持つテ居ルノデアリマス、「飛行機」ト云フ一月號ノ雜誌ニモ相當出テ居リマス、私ハ此ノ記事ヲ決シテ全部ガ全部信用スルモノデアリマセヌガ、兎角火ノナイ所ニ煙ハ出ナイ、牽強附會デアアルニシテモ、幾分斯ウシタ事實ガ伏在シ得ルコトヲ考ヘタノデアリマス、偶、私ハ偶然ニシテ知り得タ内容ト略、軌ヲ一ニスルコトヲ考ヘマスル時ニ、私ハ此處デ御注意申上ゲタイノデアリマス、ソコデ總裁、副總裁其ノ他ノ役職員ト云フモノヲ

御選ビニナリマスルニハ、餘程ノ注意ヲ以テ御選ビニナラナイト、是ハ飛ンデモナイコトニナルノデナカラウカト思フノデアリマス、現在ニ於キマシテモ會長ガ色々ナ指示命令ヲスル、サウスルト部下ノ或ル人ガ或ル所ニ行ツテ、或ル人達ノ智慧ヲ借りテ、ソレガ取消サレル、是ハ嫌ナコトデアリマスカラ澤山申シマセヌガ、私ハ色々知ツテ居リマス、何月何日ドウダツタ、斯ウダツタト云フコトハ調ベテ居リマスガ申上ゲマセヌ、日本ノ重大ナ民間航空ノ第一線ニ立ツ所ノ會社ニ於テ、斯ノ如キ風聞ガアルコトスラ私ハ間違ヒデアルト思フ、是ハ宜シク監督ヲナサル當局ハ斷ノ一字ヲ以テ當ラレナケレバナラナイ點ガアルデアラウト思ヒマス、ソコデ先刻國際電氣株式會社法案ニモヤハリアア云フヤウナコトガ出マシテ、國策會社ノ人專ト云フモノニハ、相當世間デ色々ナコトヲ申シテ居ルノデアリマス、國策會社ガ初メ政府當局ノ提案ノ時ニ於ケル説明ヤ答辯或ハ世間ニ御發表ニナツタ聲クナイ、或ハ評判ガ惡イト云フノハ、一ニ懸ツテ此ノ人事ニ於テ失敗シタ點ガアルト思フノデアリマス、私共ハ今日我國ノ實情

カラ致シマシテ、斯ノ如キ國策會社ガ出テ來ルコトハ、是ハ已ムヲ得ザル事情デアリ最モ正シイ行キ方デアルト斯ウ信ズルノデアリマスルガ、ドンナニ立派ナ組織ガ出來マシテモ、其ノ人ノ和ヲ得セシムルニハ、最モシツカリシタ人ヲ求メナケレバナラナイト思フノデアリマス、而モ其ノ人タルヤ實ニ普通ニ言フ人格トカ識見ト云フダケニ止マラズシテ、能ク部下ノ新シキ提唱ト申シマスカ、企畫ノ基本トナルベキ意見ト云フヤウナモノヲ、十分ニ採用シ、サウシテソレヲ遂行スルニ萬遺憾ナキ力備ヲ具ヘタ人デナケレバナラナイト私ハ思フノデアリマス、私ハ決シテ唯單ニ官僚ヲ攻撃スルノデハアリマセヌガ、得テシテ恩給ヲ取ツテ其處デ樂隱居ト云フヤウナ調子ナリ、サウシテ能ク子分ヲ作りタガルト云フヤウナ弊害モアリマスルノデ、實ハ昨年ノ電力管理法案以來、アアシタ一ツノ國策會社ニ對スル警告ノ意味ヲ以テ、修正ガ爲サレテ來タモノナリト考ヘルノデアリマスガ、政府ニ於キマシテハ、此ノ社長其ノ他役員ノ御選任ニ付テハ、萬遺憾ナキコトトハ思ツテ居リマスルガ、此ノ人ノ和ヲ得セシムル、即チ下僚ノ技師或ハ技術員ト云フヤウナ者ノ意見ヲ、ドウ云フ工合ノ組織ヲ以テ上部ノ方ニ反映

セシムルヤウニセラルル御意思デアルカ、ドウ云フ組織ヲ御作リニナル御積リデアルカ、其ノ點ニ付テ先ヅ御伺シタイト思フノデアリマス

○藤原政府委員 會社ノ經營ニ人ノ和ヲ得ナケレバナラスト云フコトハ全ク御説ノ通りデアリマス、大日本航空會社設立ノ際ハ、二ツノ會社ガ合併致シマシタノデ、今マデノ事務分擔ノ關係其ノ他經驗ノ相違等ニ依リマシテ、多少ノシツクリ合ハナイ點ガアツタカモ知レマセスガ、其ノ後徐々ニサウ云フコトハ是正サレテ來テ居ルト思ヒマス、將來本法案ガ兩院ヲ通過シテ御裁可ヲ經テ實施ヲ致シマスル際ニハ、改メテ大日本航空株式會社トナル場合ニ於テ、幹部ノ人選等ニ付キマシテハ慎重考慮シテ決メナケレバナラスト思フノデアリマスガ、此ノ大日本航空會社ノ社員ノ各層ニ於ケル意見ガ、上層部ニ通ジマスル所ノ方法手段ニ付テノ御質問デアリマス、是ハ會社ノ内部組織ノ狀態ニ依リマシテ、意見ガ上ニ順々ニ通ズル方法ヲ執ラナケレバナラスト思ヒマスガ、私共モサウ云フ點ヲ會社ニ篤ト注意スル積リデアリマスケレドモ、會社トシマシテモサウ云フ點ハ十分現在モ考慮シテ居リマスシ、將來モ考慮スルコトト思ヒマス

○富吉委員 只今ノ創立ノ當時ハサウデアツタガ、現在ハ非常ニ良クナリツツアルト云フ御議論ハ當ラナイト思フノデアリマス、併シ之ヲ申上ゲタ所デ仕様ノナイコトデアリマスカラ申上ゲマセスガ、私ハサウ云フ風ニハ理解シテ居リマセス、又現在サウデアアリマス、此ノ點十分ニ御注意ト御監督ヲ御願致シマス、モウ一ツ最後ニ御伺致シマスコトハ、現在ノ從業員ハ非常ニ待遇ガ惡イト思フノデス、直截ニ申上ゲマスガ非常ニ待遇ガ惡イ、斯ウ云フ事業ノ發展ト云フモノハ、單ニ會長トカ社長トカ或ハ又配當トカ云フコトモ重大ナ關係ガアリマセウガ、ソレヨリモモツト重大ニ考ヘナケレバナラストコトハ、直接一線ニ立ツテ居リマス從業員ノ待遇ガ、非常ニ他ニ比シテ惡イヤウナ狀態デハ、決シテ私ハ立派ニ發展シ得ナイト思フデアリマス、色々ノ事故等ガ起リマスコトモ、是ハ勿論設備モ不完全デアリ、飛行機モ非常ニ古ビタ結果デアリマセウケレドモ、一ツハ從業員ガ薄給デアリ過勞デアリマス爲ニ起ル事故ガ相當アルヤニ聞イテ居リマスガ、此ノ意味ニ於テ是ハ非常ニ重大ナコトデアリマス、現在ノ會社ガ國策會社トナル時モ、現在ノ俸給、現在ノ待遇

デ宜シイト御考ニナリマスカ、何カソコニ國策會社トナツタ以上ハ、十分ニ此ノ待遇ノ點ヲ向上セシメナケレバナラスト云フ御考ガアリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒマシテ質問ヲ打切りマス

○藤原政府委員 大日本航空會社ノ前身デアリマス所ノ日本航空輸送會社ガ、長イ間不況ノ狀態ヲ續ケテ參リマシタノデ、背ニ腹ハ代ヘラレズ、待遇ノ向上ヲ十分スルコトガ出來ナカツタト云フ事情ハ確カニアツタノデアリマス、昨年合併ノ際ニモ相當其ノ點ヲ是正シタ積リデアリマスガ、其ノ後モ在來ノ兩會社間ノ權衡等ヲ考ヘマシテ、是正スルコトヲ研究實施シテ居ルト私ハ信ジテ居リマス、待遇ト云フモノガ實際ノ仕事ノ熱心サニ對スル基礎要件ヲ成スコトモ、全ク御説ノ通りデアリマスノデ、待遇ノ是正ニ付テハ十分考慮サセタイト考ヘテ居リマス

○植原委員長 再三再四御注意ハ申上ゲマセスガ、ドウカ質問スル方モ簡單ニ單刀直入ニ願ヒタイシ、政府ノ御答辯モサウ願ツテ、成ベク時間ノ節約ヲ御願致シマス――

次ハ小林房之助君

○小林委員 私ハ商工當局ニ伺ヒタイノデスガ、當局ノ方ガ居ラレマセヌカラ……

○植原委員長 ソレデハ高橋圓三郎君

○高橋(圓)委員 結局ハ結論的ニ大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマスガ、第一ハ航空士養成機關ノ問題デアリマス、先般カラ御説明ヲ伺ツテ、極ク外郭ダケハ知り得タノデアリマスガ、私共ガ御説明カラ想像シマスル所デ判斷致シマスルト、現在ノ養成機關ハ慥カ中央ニ航空技術者ノ養成所ヲ御作リニナル、更ニ全國地方ヘ十箇所バカリノ養成所ヲ御作リニナルト云フコトデアリマスガ、餘リ細カイコトハ御差支ガアルカト存ジマスカラ、御差支ガアレバ數字等ハ伺ハナクトモ宜シイノデアリマス、ケレドモ、大體先般カラノ御答辯ノ様子カラ見マシテ、極ク大雜把ニ私共ガ想像致シマスノニ、假ニ一箇所五十人ヅツ位トシマシテモ、地方十箇所デ五百人、或ハ中央或ハ臨時ノ養成所ト云フヤウナモノヲ合セマスト、毎年六七百人位ノ人間ヲ養成ナサルノデハナイカ、或ハ千人近クノ者ヲ養成ナサルノデハナイカト云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、其ノ養成サレタ人員ノ消化ニ付テハ十分ノ御成算ヲ御持チナノデアリマセウカ、其ノ點ヲ先ヅ御伺致シタイト思ヒマス

○藤原政府委員 操縦士ノ養成ハ中央、地

方ト二種ニ分ツテヤツテ居リマスルガ、中

央ノ養成所ハ職業的操縦士ヲ養成スル所デアリマス、詰リ一級ノ資格ヲ與ヘルコトヲ目的トシテ、サウシテソレガ民間航空、學校ノ教官、新聞社其ノ他ノ操縦士ニナルト云フ爲ニ養成シテ居ルノデアリマス、地方ノ養成所ハ空軍ノ豫備軍ノ意味デ養成シテ居ルノデアリマスカラ、是ハ卒業致シマシテモ直グ操縦士トシテノ就職ヲ致シマセヌデ、他ノ會社、工場ト云フ所ニ就職サセテ置ク積リデアリマス、其ノ捌口ノ當モ吾々ハ十分アルト考ヘテ居リマス

○高橋(團)委員 今一ツ御伺致シタイと思ヒマスノハ、地方ノ養成所デモヤハリ、操縦士ト同時ニ、機關士ヲモ養成ヲナサル御計登ノヤウニ伺ツテ居リマスガ、サウスレバ地方ノ十箇所、現在ノモノヲ合セテ十箇所ニナリマス方知リマセヌガ、ソレ等ニハヤハリ飛行場、學校、更ニ附屬ノ工場ト云フヤウナモノが必要デアラウト思フノデアリマスガ、サウ云フ設備ガ、全國ニ十箇所以上ノ處ニ、工場ナリ、其ノ工場ヲ主宰スル技術者、教官、機械設備、サウ云フモノガ、經費等ノ問題ハ別トシマシテ、事實問題トシテ、簡單ニ——簡單ニ申シマスト語弊ガアリマスガ、早急ニ間ニ合フト云フ御

見込デアリマスカドウデスカ

○櫻井政府委員 地方デハ機關士ハ養成ヲ致シマセヌ、ソレハ中央ノ養成所デ機關士養成ヲ致シマス、但シ地方ノ養成所ハ先程藤原政府委員カラ捌口ノ點ニ付テ申上デマシタガ、補足ヲ致シマスト甲種工業學校ト同ジヤウナ教育ヲ地方養成所デスル積リデゴザイマス、繰返シマスルガ、地方養成所デハ甲種工業學校ト同ジヤウナ教育ヲシ、四年五年デ操縦ヲヤラス積リデアリマス、デスカラ卒業致シマシタ者ハ甲種工業卒業生ト同ジヤウニ會社工場ヘ入ツテ居リマス、必要ノ場合ニハ之ヲ召集、訓練ヲスルト云フコトデ航空操縦ノ機能ヲ維持スル積リデアリマスルガ、但シ五箇年間ノ中ニ於キマシテ、相當ノ人間ガ適性其ノ他ニ依ツテ操縦ニ不適ナ者ガ出ルカト思ヒマス、是ハ中央ノ飛行學校ノ方ニ移シマシテ、機關士ノ養成所ニ入レル積リデアリマスカラ、機關生ガ今ノ所々中央ノ方デ五十名ツツ卒業スル積リデアリマスルガ、恐ラク實際ヤリマシタナラバ、只今ノ操縦不適ナ者ヲ始末ヲ致シマス爲ニ相當ノ者ガ澤山出ナケレバナラスト思ヒマス

○高橋(團)委員 サウシマスト地方ノ養成所デハ機械工場ノ設備等ハナサラナイノデ

スカ

○櫻井政府委員 只今申上ゲルノヲ落シマシタガ、甲種工業學校ニ必要ナル程度ノ教育機械設備其ノ他ヲ致シマス、是等ハ入手スルコトガ相當樂ニ出來ルコトト考ヘテ居リマス

○高橋(團)委員 御趣旨ハ洵ニ結構ナコトデアリマスシ、又實現スルコトヲ希望スルノデアリマスガ、現在所謂生産擴充計畫デ色々擴充ノ計畫ガ進メラレテ居リマス、所ガ實際ニ私共當局ノ仰シヤツテ居ル擴充計畫ニ付テ、勿論アノ數字ノ通りニ行ケルト云フコトニ付テハ非常ナ疑懼ノ念ヲ持ツテ居リマスケレドモ、實際ノ事實カラ見マスルト、非常ナ心配ヲ——數字ノ通りトカ何トカ云フコトハ或ハ言葉ガ惡イカモ知レマセヌガ、要スルニドノ程度マデ實現出來ルノカト云フコトニ付テハ、國民全體非常ナ不安ト云フカ疑懼ノ念ヲ持ツテ居ル、現實ニ今サウ云フモノヲ生産シテ居ル工場デモ、例ヘバ設備ノ増設ガ事實上出來ナイ、ソレカラ有力ナル技術者ガ得ラレナイト云フコトデ、現ニ軍需品其ノモノヲ生産シテ居ル工場デサヘモサウ云フ不便ヲ非常ニ感ジテ居ル、同一ノ計畫カラ高等工業學校ノ設置ガ今計畫サレテ居リマスルガ、ソレニ付テ

モ今年カラ開設スルニハ教授ノ點ニ付テ全然手配ガ出來ナイ、結局既設ノ工場ノ附近ニ設置シテ、附近ノ個人ノ會社ノ技師或ハ經營者ト云フモノヲ動員シテ、新ナル高等工業學校ノ講義ヲヤラセヨウト云フヤウナコトガ計畫サレテ居ルト云フノガ事實デアリマス、サウ云フ狀態デ、甲種工業程度ト云フ御話デアリマスガ、更ニ全國ニ十數箇所アリマスノデ、御自信ガアレバ甚ダ結構デアリマスケレドモ、必要ナ器材ナリ、人的要素ガ得ラレルカドウカニ非常ナ疑懼ノ念ヲ持ツテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ決シテ議論ヲ致スノデハアリマセヌガ、ドウカ十分ノ御留意ヲ願ヒタイ、今一ツハ生産擴充計畫ト云フヤウナ全體的ノ計畫ト、斯ウ云フ遞信省デオヤリニナル此ノ養成所ノ設置計畫トノ間ニハ十分ナ連絡ト申シマスカ、統一的ナ御計畫ノ中ニ含マレテ居ルデアリマスルカ、或ハ現在計畫サレテ居ル擴充計畫ト云フヤウナモノトハ全然別個ニオヤリニナツテ居ルノデアリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○櫻井政府委員 地方養成所ハ、最初ノ方が十六年ノ四月カラデアリマス、本年要求シテ居リマスル豫算ノモノハ十七年ノ四月カラデアリマス、ソレマデニハ只今御親切

ニ御注意下サイマシタ事柄ハ十分果タス積  
リデ居リマス、又物資計畫トノ關係如何ト  
仰セラレマシタガ、此ノ關係ハ十分考慮シ  
テ居ル次第アリマス、其ノ點ハ御諒承願  
ヒマス

○高橋(團)委員 全體的ノ生産擴充計畫ト  
云フモノトノ關係ハ、今後十分考ヘテ居ル  
ト云フ御言明ガゴザイマシタガ、一層御留  
意ヲ願ヒタイト思ヒマス

○植原委員長 今ノ高橋君ノ質問ハ大變重  
要ナ點ニ觸レテ居ルと思フノデスガ、質問ト  
答辯トビツタリ合ハナイノデヤナイカノヤ  
ウナ感じガ致シマス、高橋君ハ何年度カラ  
ノ計畫ト云フコトデナクテ、全體ノ教育機  
關、高等工業學校其ノ他ノ計畫ト此ノ計畫  
ト一切綜合的ニ調節サレテ居ルモノカト云  
フ質問ダト思フ、是ハ國民ガ非常ニ心配シ  
テ居ルコトデアリ、且ツ重要ナコトデア  
ルと思ヒマスガ、其ノ點モウ一度高橋君重ネ  
テ御答へ願ツタ方宜カラウト思フノデス  
ガ……

○高橋(團)委員 私ハ實ハサウ云フ意味合  
デ其ノ根本ノ點ダケハ大臣ニ改メテ伺ヒタ  
イト思ヒマス

○植原委員長 寧ロ大臣カラ御答願フ方ガ  
宜イカモ知レマセヌ

○高橋(團)委員 大臣ガ御見エニナリマシ  
タカラ、其ノ點ダケ、詰リ今度ノ航空士ノ  
養成所ヲ全國ニ十箇所、現在ノモノガ、慥  
カ二箇所カト思ヒマスガ、ソレハ宜イトシ  
マシテ、新ニ十箇所全國ニ養成所ヲ御作リ  
ニナルニ付キマシテ、ソレノ操縦士ノ  
養成等ノ關係カラ、工場設備、ソレカラ其  
ノ工場ヲ指導シ、研究シ、經營スル所ノ技  
術家、其ノ他ノ人的ノサウ云フ重要ナル要  
素ガ必要デアルト思フノデスガ、ソレハ現  
在ノ實際ノ狀況デハ、現實ニ軍需品ヲ作ツ  
テ居ル工場デモ、擴張ヤ何カノ機械設備等  
ノ不足ガアル、買ヒタクテモ買ヘナイ、又  
適當ナ信頼ノ出來ル技術者ト云フモノハ容  
易ニ得ラレナイト云フ實際ノ狀況ニア  
ルノ  
デアリマス、高等工業ノ設置ニ付テモ、教  
授ト云フヤウナモノモ民間ノ人ヲ一時頼  
ン  
デヤルト云フヤウナヤリ方ラシテ居ラレ  
ル  
サウ云フ際ニ實行出來ル御自信ガオアリ  
デ  
スカ、ドウデスカト云フコトガ一ツデア  
リ  
マスガ、只今御答辯デ十六年度乃至十七  
年  
度ニナルカラ、實行ニハ十分注意シテヤ  
レ  
バ出來ルグラウト云フ御趣意ト思ヒマス  
今一ツ大臣カラドウシテモ伺ヒタイト思  
ヒ  
マスコトハ、此ノ研究所ノ問題モ私ハ同  
ジ  
ニ考ヘルノデアリマスガ、今全體的ノ生

産擴充計畫ヲ政府デ御考ニナリ、且ツ實行  
ナ  
サラウトシテ居ル、ソレハ實際問題トシ  
テハ國民ガ信頼シ切レス、ト云フヲカシ  
イ  
ノデアリマスガ、非常ニ危惧ノ念ヲ持ツ  
テ  
居リマス、政府ノ御計畫ニナツテ居ル生  
産  
擴充計畫ト云フモノガ果シテアノ通り出  
來  
ルグラウカドウカ、若シ出來ナケレバ困  
ツ  
タモノダ、少クトモ出來テ貫ハナケレバ  
ナ  
ラヌト云フ考ヲ持ツテ居ル、サウ云フ場  
合  
ニ新ナルサウ云フ施設ナリ、又人的要  
素  
ナリヲ一方デ御持チニナルト云フコトニ  
付  
テハ、政府ノ全體的ノ生産擴充計畫ト、斯  
ウ  
云フモノトノ間ニビツタリトシタ何ト申  
シ  
マスカ調整ガ出來テ居ルノデアリマスガ、  
言  
葉ヲ換ヘテ云ヘバ生産擴充計畫ノ一部ト  
云  
フヤウナ意味合デ御計畫ニナツテ居リマ  
ス  
カドウカ、サウ云フ點ヲ御伺シタイ

機關、之ニ對スル相當ノ資材モ要リマス、  
尙且中央研究機關ニ至リマシテハ相當ノ大  
規模ノモノデアリマスカラ資材モ固ヨリ要  
ル  
ノデアリマス、之ニ付キマシテハ物動計  
畫  
竝ニ生産力擴充計畫ノ中ニ十分ニ考慮ニ  
入  
レテ貫ツテアルノデアリマス、此ノ物動  
計  
畫ニ生産力擴充ノ問題ガ、單ニ机上ノ計畫  
ニ  
過ギナイト云フコトニナリマシテハソレ  
コ  
ソ國家ノ重大事デアリマス、現政府ニ於  
キ  
マシテハ此ノ生産力擴充ト云フ問題ニ對  
シ  
テハ出來ルダケノ努力ヲ拂ハナケレバナ  
ラ  
ヌ責任ガアルノデアリマス、又其ノ決心  
ヲ  
以テ進ムノデアリマス、尙ホ打割ツテ申  
シ  
マスレバ此ノ航空ノ事業ノ擴大強化ニ付  
キ  
マシテハ、單ニ是ハ逓信省當局ダケノ案  
ニ  
ハアラズシテ、種々關係スル有力ナル方  
面  
トモ協議ヲ遂ゲ、隨テ地方ニ於ケルソレ  
等  
ノ大ナル計畫ト十分ナル連絡ヲ取ル、其  
ノ  
大キナ計畫ノ一部トシテ之ヲ實行スルト  
云  
フ案デゴザイマスルカラ、政府ト致シマ  
シ  
テハ勿論御心配ニナル點ニ付キマシテハ  
十  
分ニ考慮ヲ致シテ居ル次第デアリマス  
○高橋(團)委員 只今生産擴充計畫トノ間  
ノ  
御關係ヲ御説明下サイマシテ幾分安心致  
シ  
マシタ、ソレカラ今一ツハ此ノ養成所ノ問  
題  
ニ付テ軍當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒ

○鹽野國務大臣 乘員ノ養成ニ付キマシテ  
ハ  
御承知ノヤウニ、中央ノ養成所竝ニ地方  
ノ  
養成所ヲ十三年度ニ於テハ五箇所、十四  
年  
度ニ於テ又五箇所、更ニ後年度ニ於テ又  
之  
ヲ増ス計畫ニナツテ居リマス、又大規模  
ノ  
中央研究機關ヲ設ケル、之ニ付キマシテ  
ハ  
第一次ノ計畫トシテ五千萬圓、將來第二  
次  
ハ更ニ五千萬圓ト云フ豫定デアリマスルガ、  
只  
今ノ所計畫シテ居リマスル乘組員ノ養成

機  
關、之ニ對スル相當ノ資材モ要リマス、  
尙且中央研究機關ニ至リマシテハ相當ノ大  
規模ノモノデアリマスカラ資材モ固ヨリ要  
ル  
ノデアリマス、之ニ付キマシテハ物動計  
畫  
竝ニ生産力擴充計畫ノ中ニ十分ニ考慮ニ  
入  
レテ貫ツテアルノデアリマス、此ノ物動  
計  
畫ニ生産力擴充ノ問題ガ、單ニ机上ノ計畫  
ニ  
過ギナイト云フコトニナリマシテハソレ  
コ  
ソ國家ノ重大事デアリマス、現政府ニ於  
キ  
マシテハ此ノ生産力擴充ト云フ問題ニ對  
シ  
テハ出來ルダケノ努力ヲ拂ハナケレバナ  
ラ  
ヌ責任ガアルノデアリマス、又其ノ決心  
ヲ  
以テ進ムノデアリマス、尙ホ打割ツテ申  
シ  
マスレバ此ノ航空ノ事業ノ擴大強化ニ付  
キ  
マシテハ、單ニ是ハ逓信省當局ダケノ案  
ニ  
ハアラズシテ、種々關係スル有力ナル方  
面  
トモ協議ヲ遂ゲ、隨テ地方ニ於ケルソレ  
等  
ノ大ナル計畫ト十分ナル連絡ヲ取ル、其  
ノ  
大キナ計畫ノ一部トシテ之ヲ實行スルト  
云  
フ案デゴザイマスルカラ、政府ト致シマ  
シ  
テハ勿論御心配ニナル點ニ付キマシテハ  
十  
分ニ考慮ヲ致シテ居ル次第デアリマス

マス、ソレハ航空士ノ能力ト云フコトニ付テモ、必ズシモ民間航空ノ航空士ト、ソレカラ軍、勿論軍デハ色々ノ任務ガアリマセウガ、軍ノ要求サレル航空士ノ能力トハ自ラ違フノデヤナイカ、殊ニ實際問題カラシマスト、有事ノ際ノ豫備員トシテ養成サレルト云フコトデアリマスレバ、養成所デ五箇年ノ中二年間操縦ノ訓練ヲ受ケタ航空士ガ更ニ豫備軍トシテ民間ニ居ル、ソレヲ有事ノ際ニ召集ナサツテ、ソレガ直グ航空隊ノ軍用ノ飛行機ヲ操縦シテ軍事上ノ任務ガ果セルト云フ風ニ御考ニナツテ居ルノデアリマスルカ、或ハ召集ナサツテカラ何カ再教育デモナサルト云フヤウナ御方針デアアルノデアリマスカ、其ノ點ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○町尻政府委員 大體ニ於キマシテ純粹ニ民間デ教育ヲ受ケタ豫備員ガ其ノ儘直グ第一線ノ仕事ニ就クト云フコトハ非常ニ難カシイト思ヒマス、戰時ニ於キマシテモ——尤モ此ノ前御話致シマシタ空中輸送或ハ連絡、サウ云フ勤務ニハ就ケマスケレドモ、第一線ノ敵ノ後方ニ入ツテ爆撃ニ從事スルトカ或ハ戰闘ニ從事スルトカ云フヤウナコトハ相當ノ教育ヲ要スルト思ヒマス、併シ御承知ノ如ク將來ノ爲ノ必要ヲ願慮致シマ

スルト、既ニ歐洲戰爭ノ當時ニ於テ、一國ガ一年間ニ要シタ操縦士ダケデモ、初メ準備シテ居ツタ十八割ヲ一年間ニ所要シテ居ルト云フヤウナ實驗實例モアリマスノデ、相當大量ノ豫備員、而モソレハ相當ノ教育ヲ既ニ済マセテ居ル者ノ仕上ゲト云フモノハ割合ニ簡單ニ出來ル、斯ウ考ヘテ居リマスノデ、人數ハ戰時龐大ナ量ガ要ルト云フコトヲ考慮シテ特ニ御願ヲシテ居ル次第デアリマス

○高橋(圓)委員 實ハ大臣ガ先刻オ居デニナラナカツタノデ、順序ヲ變ヘテ質問シテ居ツタノデ逆ニナリマスガ、其ノ次ニ中央研究所ノコトニ付テ御伺ヲ致シタイト思ヒマス、今回御計畫ニナツテ居ル研究所ハ在來ノ所謂研究所トハ多少趣ガ違ツテ、色々ナ御計畫ガアルト云フコトヲ私ハ先般カラ承ツテ居リマスルガ、唯私共ガ素人トシテ漫然ト考ヘマスルト、御承知ノヤウニ大學ニモ航空研究所ガアル、陸軍デモ航空研究所ヲ御持ニナツテ居ル、海軍デモ研究所ヲ御持チニナツテ居ルヤウニ承ツテ居リマス、ソレ等ノモノト今度ノ御計畫ノモノガ極メテ重大ナ意義ヲ持チ、使命ヲ持ツテ居ルト云フコトハ認メマスルガ、寧ロ是等ノモノト統合的ナ、一層能率的ナ御研究ヲナサルヤ

ウナコトハ出來ナイモノカドウカ、ソレハ單ニ經費ノ點トカ豫算ガドウトカ云フ意味合デハナイノデアリマシテ、先般モ鐵ノ増産ノ問題デ、或ル最高ノ權威者ノ意見デアリマスガ、同様ノコトガ頻リニ他ノ方面デハ唱ヘラレテ居ルノデス、例ヘバ鐵ヲ増産スル、鑛石ハアルケレドモ、熔鑛爐ガ出來ナイ、併シ現在ノ日本ノ工業技術ノ發達程度カラ言ヘバ、熔鑛爐程度ノモノハ出來ナクハナイ、ケレドモ一ツノ熔鑛爐ヲ研究スルノニ五十萬圓モ百萬圓モ研究費ヲ掛ケテ拵ヘテ

見テモ、五年目ニ一臺註文ガアルカ、十年目ニ一臺註文ガアルカ分ラナイ、結局現状デハ何處デモヤラナイ、政府或ハ陸海軍其ノ他ノ研究所等デモソレ程ノ研究ヲ平時カラヤツテ置カナイ、本當ハ日本ノ現在ノ工業技術ノ能力ヲ綜合シテ研究スレバ大シタコトモナク出來ル筈ナノデアリマス、其ノ他ニモ同様ノモノガアリマス、熔鑛爐ダケデハアリマセス、ソコデ在來ノ室蘭トカ各方面ノサウ云フ國立或ハ軍ノ所屬ノ工業研究機關ヲ綜合シテ、國有ノ一大基本工場ヲ作レト云フヤウナ運動ガ現ニ行ハレ掛ツテ居ル、サウ云フ風ニ技術ナリ有ユル能力ヲ總動員シ活用シ、最モ能率的ニ働カセヨウト云フ必要ト考ガ一方デ起ツテ居ル際ニ、航

空ニ關シテ在來分立シテ居ルノニ、新ニ又——勿論使命ニ違ヒモアリマセウシ、重大ナ使命ヲ御持チニナツテ居ルコトハ能ク考ヘテ居リマスルケレドモ、ソレデアレバ尙更在來ノモノト統合的ナ、綜合的ナ、サウシテ最モ能率的ナ方法ヲ御考慮ニナル餘地ガナイモノカドウカ、或ハ將來デモ左様ナ點ニ御留意ニナツテ何カ御考ニナツタラ如何カ斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマスルガ、其ノ點ニ付キマシテ當局ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○鹽野國務大臣 中央研究機關ノ外ニ帝國大學ニ於ケル研究所、又陸海軍ニ於ケル研究所ソレレ、ゴザリマスルガ、是ハ中央研究所トソレ等ノ機關トノ間ニ密接ナ連絡提携ヲ致シテ進ンデ參ルノデアリマス、在來ノ研究所ニ付キマシテハ、帝大ニ於キマシテハ、専ラ理論ノ方面、學理ノ方面ニ研究ヲ進メル必要ガアリマス、又軍部ノ研究所ニ於テハ軍事ニ必要ナル其ノ部門ノ研究ヲ特殊ニスル必要モアリマセウ、又中央ニ於テモ同様ノ研究ヲモ爲シ、重複スルヤウナ場合モアリ得ルノデアリマス、併シナガラ主眼トスル所ハ各、違ツテ居リマス、又假ニ一部ノ重複ガアリマシテモ、是ハ互ニ競争スルト云フ意味合モアリマスルノデ、必ズ

シモ、ソレヲ不要視スル必要ハナイト考ヘマス、假ニ全部ヲ一ツノ機關ニ集メテ、總力ヲ以テ研究スルト云フノモ一應ノ考ヘ方デアリマス、是ハ其ノ他ノ研究機關ニ於テハ小規模ニシテ、研究費用ガ足りナイト云フヤウナ實情カラ、左様ナ合同機關ヲ拵ヘルト云フ意見モ出テ來ルコトカト思ハレルノデアリマスガ、假ニ之ヲ合同シタ一ツノ機關ニ致シマシテモ、其ノ研究員ガ各部々々ニ於テ祕密ヲ守リ、協力ヲスルコトガナクシテハ何等ノ效能ヲ發揮スルコトハ出來ナイノデアリマス、要スルニ機關ハ分レテ居ツテモ、互ニ協力シテ、航空ノ機能發達ニ資スルト云フ精神的ノ結合ニ主眼ヲ置クヤウニ指導シナケレバ相成ラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、幸ニ遞信省內ニ設ケラレル中央航空研究所ハ各方面ノ協力ヲ得テ、其ノ研究ノ結果ヲモ實地ノ製作ノ上ニ於テ之ヲ現ハシテ見ヨウト云フ方向ニ進ムノデアリマス、先ヅ斯様ナ計畫ガ宜シイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○松尾委員 議事進行ニ付テ發言シタイト思ヒマス、モウ一時半ニナツテ居リマスガ、ドウデスカ、今日ハ是ダケニシテ又明日ニデモ開イテ進行シテ戴クヤウナ方法ヲ委員長ニ於テ御取計ヒ願ヒマセスト、是カラ尙

ホ高橋サンノ御質問ヲ聽カセテ戴カナケレバナラズ、又大臣モ御答辯ニナリ、私モ續イテ少シ質問シタノデスカ、此ノ儘繼續シテオヤリニナリマスガ、明日又開クコトニシテハドウデスカ

○植原委員長 マダ質問ハ終了致シマセス、之ヲ一時マデ繼續致シマシタ所ガ、明日カ或ハ月曜日委員會ヲ開イテ質疑ヲ繼續シナケレバナナイト委員長ハ考ヘテ居リマス、質問ノ通告ヲサツタ方ガ今日終了致シマセス、唯速記ノ方ノ都合ガアリマシテ、明日開クトモ、月曜日ニナルトモ判然致シマセス、只今速記ノ方ノ都合ヲ聽キマシテ、尙ホ正確ナ御答ヲ致シマス、尙ホ本日モ速記課カラ成ベク十二時半ニ質疑ヲ終ヘテ吳レロト云フ申出モアルノデアリマス、左様ナ譯デ、速記ノ都合ヲ聽キマシタ上ニ、明日カ月曜日カラ定メテ本日ハ散會シタイト思ツテ居ルノデアリマス、其ノ間時間ヲ節約スル意味デ、高橋君ノ質問ヲ續ケテ下サイ

○高橋(圓)委員 時間ノ節約上只今伺ヒ掛ケマシタ點ヲモウ一言ダケ御伺致シマス、是ハ大體サウ云フ風ニモ伺ツテハ居リマシタガ、結局今度ノ研究所ハ在來ノ大學ナリ軍ナリノ各方面ノ研究所ト連絡ヲ御執リニナツテ、特ニ民間機ダケト限ラレルカドウカ分

リマセヌガ、其ノ點モ伺ヒタイト思ヒマシタガ、日本デ作ル飛行機ノ標準のナ型ヲ將來此ノ工場デ作ラウ、詰リ研究所ト云フヨリハ寧ロ大キナ飛行機ノ製造工場ヲ造ラウト云フ御考ガ實際ノ御考デハナイカト私ハ考ヘマス、唯研究所デ研究スルダケナラバ、假ニ製作ヲ爲スニシテモ部分的ナ仕事ハ他ニヤラセル、サウシテ組立ヲヤツテ、寧ロ試驗的ニオヤリニナルト云フコトデアレバ、五千万圓ノ一億圓ト云フ大經費ハ要ル譯ハナイノデアリマス、私ハサウデハナイト思ヒマスガ、其ノ點ハドウデアリマスガ、又民間機ダケヲ御研究ニナリ御作リニナルノデアリマスガ、或ハ廣ク軍用機等ニ付テモ御研究ニナリ製作ヲ將來ハスルト云フ抱負デゴザイマスガ

○鹽野國務大臣 中央航空研究所ニ於キマシテ、各方面トノ連絡ヲ緊密ニスルト云フコトヲ申上ゲマシタガ、是ハヤハリ組織ノ上ニ於テ技術最高委員會ナルモノヲ設置シテ各方面ノ權威者ヲ全部集メテ、其ノ研究ニ依リマシテ指導方針ヲ決メテ、之ヲ實地ニ應用シテ行クト云フヤウナ組織ニナルノデアリマス、尙ホ此ノ機關ノ運用ニ付キマシテハ政府委員カラ申上グル方ガ宜カラウカト存ジマス

○植原委員長 マダ速記ノ都合ガ分テナイサウデスカ、今日ハ是ニテ散會致シマシテ、次ノ委員會ハ何レ公報ヲ以テ御知ラセスルコトニ致シマス

午後零時四十分散會

昭和十四年三月十九日印刷

昭和十四年三月二十日發行

衆議院事務局

印刷者 內閣印刷局